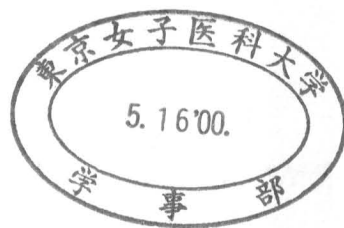


2000年度

Block 1-4期 テュートリアル課題

「沈黙の臓器」:

課題番号 2000-B1-T4-15



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

TWMU Block 1-4 第一病理学教室 澤田達男

## シート1

二十歳を過ぎて大輔君はこのごろアルコールを飲む機会がふえています。妹のあみさんとの会話です。

『最近飲み過ぎて調子悪い。』

『あんまり飲むと肝臓悪くするよ。肝臓は沈黙の臓器といって症状が出てきたらおしまいって聞いたよ。』

『でも、あみちゃん、肝臓って、半分以上切ってもすぐにもとの大きさに戻るんだよ。』

## 抽出を期待する事項

1. 細胞増殖
2. 反応性増殖
3. 再生
4. 肝臓の機能と構造
5. 飲酒の身体に及ぼす作用

シート2

あみさんは、気になって恭子さんの本を開きました。

「肝臓は再生能力が高い」と書かれていました。

『再生って元に戻ることでしょ。でもじゃ、どうして癌が出来るのかしら、肝硬変って病気もよく聞くし。』

あみさんは頭が混乱してしまいました。

抽出を期待する事項

- 1、反応性の増殖
- 2、腫瘍【良性腫瘍と悪性腫瘍】
- 3、発癌
- 4、癌遺伝子
- 5、癌抑制遺伝子